

学部：上武大学ビジネス情報学部

学科：スポーツ健康マネジメント学科救急救命コース

役職：教授

氏名：千明政好



最終学歴・学位等

最終学歴：群馬大学大学院医学系研究科保健学専攻 基礎看護学博士前期課程

学位：修士（保健学）、学士（教養）

免許：看護師免許、臨床工学技士免許、救急救命士免許

資格：中央労働災害防止協会公認 KY T（危険予知トレーニング）インストラクター、
介護支援専門員、

AHA BLS（アメリカ心臓病協会一次救命処置）インストラクター、

ICLS（二次救命処置）インストラクター

所属学会等

日本集中治療医学会

日本看護学会

主な職歴

昭和 61（1986）年 4 月～平成元（1989）年 3 月

日本医科大学医学部附属病院 高度救急救命センター

平成 2 年 4（1990）月～平成 20（2008）年 3 月

群馬大学医学部附属病院 集中治療室勤務、教育担当師長、HCU 師長

平成 20（2008）年 4 月～平成 25（2013）年 3 月

上武大学看護学部（准教授）

平成 25（2013）年 4 月～令和 6 年（2024 年）3 月 31 日

上武大学看護学部（教授）

令和 6 年 4 月 1 日～現在

上武大学ビジネス情報学部スポーツ健康マネジメント学科教授

担当授業科目

【ビジネス情報学部】

救急処置演習 A～V（4 年通年）

災害医学（4 年後期）

外傷学総論（3 年前期）

外傷学各論（3 年前期）

救急医学（3 年後期）

精神医学（2 年前期）

眼科学・口腔外科学（2 年後期）

外科学概論（2 年後期）

救急医療行政（1 年後期）

【大学院経営管理研究科】（スポーツ健康マネジメントコース）

救急災害マネジメント特論 A（1・2 年前期）

救急災害マネジメント特論 B（1・2 年後期）

救急災害マネジメント演習 I（1・2 年前期）

救急災害マネジメント演習 II（1・2 年後期）

専門・研究領域

専門分野：急性期医療処置、救急患者対応、成人看護学、救急看護、

主な論文・著作

論文

- 1.千明政好, 星野悦子, 齋藤やよい他, 看護管理者が認識するエキスパートナースのイメージに関する研究, 群馬保健学紀要,26,(1-10),2006.
- 2.岩田幸枝, 千明政好, 齋藤やよい他, 異常を判断した ICU 看護師の思考パターンの分析, 群馬保健学紀要 26,(11-18), 2006.
- 3.鈴木恵理,千明政好, 小坂橋喜久代他, 肺葉切除術後患者における座位とファールー位の生体反応, THE KITAKANTO MEDICAL JOURNAL, 58(3) : 356, 2008.
- 4.北爪明子,千明政好,小坂橋喜久代他,女性のライフイベントを経験し、キャリア後期まで勤務継続できた要因と役割自覚－病院に勤務する看護師に焦点をあてて－, 第 39 回看護日本看護学会論文集 看護管理, 291-293,日本看護協会出版会,2009.
5. 森田 孝子 , 千明 政好 , 片貝 智恵 参加型地域公開活動に参加した学生の学習効果 : 「看護の日に当たり健康を考える」学外実地体験に参加した学生の調査から, 上武大学看護学部紀要 6(1), 28-37, 2010-12
- 6.千明政好 ,片貝 智恵 : エンジョイ・レスキュー (ER) サークルが看護学生に与える効果に関する研究, 上武大学看護学部紀要 6(2) p36-44. 2011.
- 7.千明政好 ,片貝 智恵、山勢博彰他、救急看護師が認識する臨床で重要性が高まっている技術・能力に関する調査, 日本救急看護学会雑誌, 15(2),23-30,2013.

著者

- 1.道又 元裕編集,人工呼吸ケアのすべてがわかる本,照林社,2001.9,第 6 章人工呼吸中の鎮痛について分担執筆 p179-224.
2. 池松 裕子編著,クリティカルケア看護の基礎 生命危機状態へのアプローチ第 1 版,メチカルフレンド社,2003.7,第 2 章－クリティカルな脳・神経疾患患者の看護を分担執筆 p248-266.
3. 中村恵子監著、 Nursing Selection10 救急ケア初版,学習研究社,2003.8.,第 3 章 3-2 安全を最優先に考える急性期の身体拘束の節を分担執筆、p218-227.
4. 野嶋佐由美・渡辺裕子編集, 家族看護 6「特集：生命の危機状態にある患者家族への看護」,日本看護協会出版会,2005.8,「救急場面での家族看護を可能にする体制づくり」を分担執筆 VOL.3-2, p36-43.
5. 佐伯由香・田中美智子編集：ナーシンググラフィカ健康の回復と看護①呼吸機能障害／循環機能障害,MC メディカ出版, 第 3 版 2014.1. 第 1 章 4 肺循環障害 p46-50、5 呼吸器系におけるその他の障害-胸部外傷 p51-53 ,第 4 章 3 呼吸機能障害の治療に伴う看護 p96-101、を分担執筆
6. 山勢博彰編集, クリティカルケアアドバンス看護実践, 第 2 章ライン・カテーテル・ドレーン管理の技術,南江堂,2013. 3 腹腔ドレナージの管理と実際 p187-198 を分担執筆,
7. リスク感性与気づきの力の教育,「リスク感性教育と K Y T のポイント」, 病院安全教育、Vol.1(2).p11-16.2013.10.
8. 安全で快適な職場風土にする指導者側に求められる配慮とコミュニケーション：看護人材育成、Vol.12(1).p16-23.2015.4.
- 9.山勢博彰／山勢善江／菅原美樹／阿久津功／清村紀子／佐藤憲明／立野淳子／千明政好／西澤健司／原田竜三／平尾明美／松本幸枝／富岡小百合著,系統的看護学講座別巻 救急看護学 救急看護学. 第 6 版,医学書院,2018.1,第 3 章救急看護体制と看護の展開の院内急変時における対応 p72-76, 第 4 章救急患者の観察とアセスメント C 緊急時検査 p102-108, J 内分泌・代謝系 p147-149, 第 5 章主要病態に対する救急処置と看護 G 体液・代謝異常への対応 p220-227,を分担執筆.
- 10.看護学生, メチカルフレンド社, 連載 12 か月「症状の起こるしくみを理解して観察・報告しよう」 Vol.66 No1～12,2018.4.～2019.3.
- 11.看護学生, メチカルフレンド社, 連載 24 か月「症状の起こるしくみを理解して観察・報告しよう」 Vol.70 No1～12, Vol.71No1～12,2022.4.～2024.3.